

仲間の声援を受け 総合優勝へ!!

D
O
N
L
I
N
E

第2号
発行者
第52代
田村 美樹

関西学生新人大会4連覇!

(2014年度少林寺拳法関西学生新人大会 関西外国語大学片鉾総合体育館にて)

十二月十四日、寒さも身にしみる日に関西外国語大学の片鉾総合体育館で二〇一四年度少林寺拳法関西学生新人大会が開催されました。シーズン最後の大会であり、そして4連覇が懸かっている今大会では、部員全員が今まで以上に厳しい練習に取り組み、それぞれの目標を持って大会に臨みました。以下、大会成績です。

単独演武

段外の部
有段の部
今村(文2) **一位**
森安(法2) 五位

組演武

白緑帯の部
男子茶帯の部
岩本(法1)・野々垣(理工1) 六位
川口(心理2)・白石(法2) 四位
麻生川(経済2)・橋本(法2) 五位
女子茶帯の部
男子初段の部
竹林(商2)・山田(社会2) **二位**
上村(法3)・田村(同女3) **三位**
東谷(法3)・片町(法1) 六位

団体演武の部

同志社大学B(奥西・宮下・東谷・上村・麻生川・山本・片町・田中) **一位**
同志社大学A(田村・野田・藤木・竹林・森安・山田) **二位**

運用法

女子の部
野田(スポ健3) **三位**
藤木(法3) **二位**
男子軽量級
山本(経済2) **三位**
男子中量級
宮下(政策3) **三位**

今大会では部員各々が練習の成果を遺憾なく発揮し、部の目標であった大会4連覇という同志社の名に見合った素晴らしい成績を見事獲得しました。そして特に力を入れてきた運用法の部において四名の入賞者を出しました。今大会で成績が振るわなかった部員もいましたが、その悔しさを次なる目標への推進力として今後の練習に精を出していきます。来シーズンには関西学生大会が開催されますが、この勢いのまま総合優勝という悲願成就を目指して部員一同邁進していきたいと思います。また大会の際にはOB・OGの方々にお会いできることを楽しみにしております。

記念すべき! 第一回 OG 会を開催!!

開催のきっかけはあるOBの一言。「OG会やれよ。OGの皆待つてで。」そこで早速、連絡を取り合い平成26年12月27日、第一回同志社大学少林寺拳法部OG会を開催する運びとなりました。参加人数は16人。小さなお子さんの参加もありました。これだけの人数を短期間で集め、段取りができるとは思ってもみませんでした。和気藹々とした雰囲気の中、久しぶりの同期との再会に多いに話は盛り上がり、時間と時代を忘れさせてくれる会合でした。開催にあたり、多くのOBの方々との多大なるご支援に感謝し、今後もOGの絆を深めるため続けていきたいと思ひます。 第24代 三谷千秋さん

全日本学生大会

11月30日、武道館にて全日本学生大会が開催されました。今回の大会では女子団体の部3位、女子茶帯の部で竹林(商2)・山田(社会2)が2位に入賞、そして女子立会評価法の部では藤木(法3)が2位を受賞と、女性の躍進が輝く結果となりました。女子団体においては4年連続の入賞となり、また近年では女性の主将も活躍されており、ますます我が部の女子のレベルが上がってきています。大会終了後は関東OB会に参加させていただき関東にお住まいの多くのOBの方々たくさん交流させていただきました。

(女子茶帯の部に竹林・山田ペア)



OB・OG現役合同練習会

「現役、OB・OGとの深い繋がり」

十月十一日土曜日に京田辺キャンパス真誠館道場にて、OB・OG現役合同練習会が行われました。我が同志社大学体育会少林寺拳法部は昨年に五十周年を迎えます。OB・OGの皆様方と現役部員の繋がりが重要となってきました。この合同練習会は毎年多くの先輩方にお越し頂いており、今年の練習会では懇親会を含めると四十名以上の先輩方とお会いすることができました。お忙しい中お越し頂きましたOB・OGの皆様方には感謝申し上げます。

今年の合同練習会も基本練習から始まり、相対での移動基本、技術練習や演武発表、そして運用法が行われOB・OGの方々と現役が練習を通してお互いに良い影響を受け合う事ができました。OB・OGの方々には演武発表を見ていただくことで、日頃の現役部員の修練の成果を、そして現在の部活の様子を感じ取っていただけたかと思えます。そして毎年恒例の現役とOB・OG全員での団体演武も行われました。今年の団体演武は単独演武と組演武が2構成ずつの計4構成という全員で行うには難易度の高いものとなりましたが、OB・OGと現役が一緒にやって思案し、練習することで素晴らしい団体演武を行うことができました。その後の懇親会でも多くの先輩方にお越し頂きました。懇親会では普段お会いするこ



とができないOB・OGの方々にもお会いすることができ、日々の生活では聞けないような貴重なお話を頂くと、大変有意義なものとなりました。加えてOB・OGの皆様方と現役部員が歓談している様子から強い繋がりを感ずることができました。今後もこのような交流の場や現役、OB・OGの皆様との繋がりを大切にして日々の部活動に励んでいきたいと思えます。

(写真 真誠館にて
合同練習会の様子)

少林寺拳法全国大会 in 埼玉

「出場されたOBを直撃！」

11月3日、吐く息の白さに秋の終わりを感ずる頃、さいたまスーパーアリーナにて2014年少林寺拳法全国大会 in 埼玉が開催されました。全国大会は秋シーズン最初の大会であり、さらに京都府大会から続いてきた大会であるため、部員一同が緊張しつつ、臨むこととなりました。今回は部活を引退されても現役で少林寺拳法を続けていらっしゃるOBの先輩方に「全国大会に出場されて」というお題で、インタビューを行わせていただきました！ご協力いただきました先輩方にはこの場でお礼を申し上げます、ありがとうございました。



片山さん(第32代) 一般男子五段以上の部 片山さん(第32代)・吉川さん(東京都代表) 優良賞

現役も頑張っているし、自分も体が動ける内に後輩の手本になるべきだと思い、立教大学の吉川さんに組んでくれないかと頼んで、4年前に少林寺拳法を再開しました。しかし、全国大会への道のりは厳しく、2年間は出場することができませんでしたが、今度こそはと一念発起をした結果、全国大会での賞に結び付けることができました。

その際、19年前に全国大会で賞をとったことを思い出しました。やはり、今のベースは同志社大学で培ってきたものです。見せ方を工夫することをずっと意識してきた一方、林先生の教えてが今に繋がっていると感じています。今の結果では満足していないため、もう一年、頑張ります。

長谷川さん(第33代) 大学を卒業してから17、18年間も少林寺拳法から離れていました。そんな僕が少林寺拳法を再開したのは、職場の健康診断に引っかかったことが契機でした。近所の道院に通い始めましたが、偶然私と体格の合う方がいらっちゃって。その方と練習をしているうちに、いつの間にか熱が入ってしまいました。大会には、僕のOBでは安道監督や片山さん、また、後輩や現役が出場しており、皆が「少林寺拳法」を同じ場所で行っているという感覚は、少林寺拳法の良さを感じると同時に、同志社少林寺拳法部でよかったなと改めて思うことができました。

村上さん(第45代) 全国大会の経験を通じて感じたことは、時間を上手く使うことの大切さです。社会人になると、学生時代以上に時間がありません。特に、私の場合「仕事・結婚準備・公務員試験勉強・練習の両立」が課題でした。そこで、結婚準備の為に関西へ帰る新幹線の中で公務員試験勉強を行う、帰社後に道場で自主練習、体のキレを取り戻すためにジムで8kg減量など、時間の使い方を見直し、練習時間を確保しました。与えられた時間の中で自分のしたいことを最大限行えるように段取りを組み、引退後5年ぶりの組演武で全国大会に出場できた経験は私にとって貴重な財産です。そして、アリーナですれ違ったら合掌して挨拶してくれる現役生と接して、人の繋がりに感謝すると共に、背中のゼッケンは違えど、自分は同志社大学少林寺拳法部の歴史の一員であることを再認識させてくれる大会でもありました。